

# 校舎配置案ごとの特徴比較表

凡例：

前回からの変更項目

懸念事項

資料6

既存		I型-1(体育館東側・プールあり)	I型-2(体育館東側・プールなし)	L型-1(体育館西側・プールあり)	L型-2(体育館西側・プールなし)		
<p>▲ 正門 ▲ 車両出入口 校舎延べ面積：約5,496㎡ △ 通用門 ■ 校庭範囲 校庭有効面積：約3,050㎡</p>		<p>▲ 正門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置 校舎延べ面積：約7,930㎡ △ 開放入口想定位置 ■ 校庭範囲 校庭有効面積：約2,580㎡</p>	<p>▲ 正門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置 校舎延べ面積：約7,640㎡ △ 開放入口想定位置 ■ 校庭範囲 校庭有効面積：約2,750㎡</p>	<p>▲ 正門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置 校舎延べ面積：約8,065㎡ △ 開放入口想定位置 ■ 校庭範囲 校庭有効面積：約2,600㎡</p>	<p>▲ 正門想定位置 ▲ 車両出入口想定位置 校舎延べ面積：約7,880㎡ △ 開放入口想定位置 ■ 校庭範囲 校庭有効面積：約2,750㎡</p>		
比較項目		改築基本方針 該当番号	特徴	特徴	特徴		
1 校舎 環境	生徒	教室配置	I, II, III	・普通教室は2Fに横並び ・特別教室は東西の2F・3Fに分散	・普通教室は2Fに横並び ・特別教室は東西の2F・4Fに分散	・普通教室は2F～4Fに学年ごと又は3Fに2学年・4Fに1学年 ・特別教室は2～3F、または2Fに集約	・普通教室は2F～4Fに学年ごと又は3Fに2学年・4Fに1学年 ・特別教室は2～3F、または2Fに集約
		窓先の環境、日照、採光	I, IV, V	・普通教室は南側（道路側） ・共用部（廊下）は明るい	・普通教室は南側（道路側）で明るい ・共用部（廊下）明るい	・普通教室は東側・西側（校庭側または神社側） ・共用部（廊下）は明るい	・普通教室は東側・西側（校庭側または神社側） ・共用部（廊下）は明るい
		通風	I, IV, V	・自然通風がとりやすい	・自然通風がとりやすい	・自然通風がとりやすい	・自然通風がとりやすい
		居住性(普通教室)	I, III, V	・普通教室が道路側に面し明るいが近隣との見合に配慮必要	・普通教室が道路側に面し明るいが近隣との見合に配慮必要	・普通教室が校庭側に面するため明るく開放的	・普通教室が校庭側に面するため明るく開放的
		他学年の普通教室前通過	I, V	・あり	・あり	・なし	・なし
管理	管理諸室の連携	III, V	・横に連続した室配置	・横に連続した室配置	・校務センター型が可能なまとまった配置	・校務センター型が可能なまとまった配置	
	セキュリティ	III, V, VII	・職員室から校庭が見えない(保健室・用務室からは見える)	・職員室から校庭が見えない(保健室・用務室からは見える)	・職員室が校庭側に面するため見渡しが可能	・職員室が校庭側に面するため見渡しが可能	
2 校庭 環境	校庭配置・形状・広さ	I, VII	・既存より狭くなる（約-470㎡）	・既存より狭くなる（約-300㎡）	・既存より狭くなる（約-450㎡）	・既存より狭くなる（約-300㎡）	
	日照	I, IV	・冬季は終日日影となる部分がある	・冬季は終日日影となる部分がある	・ほとんど日影は生じない	・ほとんど日影は生じない	
	アクセス・動線	I, III, VII	・正門からのアクセスが良くない	・正門からのアクセスが良くない	・正門、昇降口からアクセス可能	・正門、昇降口からアクセス可能	
他	プール	I, II	・東側、体育館上部に配置	・なし	・西側、体育館上部に配置	・なし	
3 周辺 環境	配慮	日影	IV	・既存不適格が改善される ・冬季の午後、東側住宅に日影が生じる	・既存不適格が改善される ・冬季の午後、東側住宅に日影が生じる	・既存不適格が改善される。 ・冬季、北側の住宅地に既存同等程度の日影	・既存不適格が改善される ・冬季、北側の住宅地に既存同等程度の日影
		周辺への圧迫感	IV	・南側：既存より近くなるが低くなる ・4Fとなる南東角の影響が大きくなる	・南側：既存より近くなるが低くなる ・4Fとなる南東角の影響が大きくなる	・南側：既存より近くなるが低くなる	・南側：既存より近くなるが低くなる
	活用	校庭の音・砂ぼこり	IV	・北・東側に影響が想定され、舗装仕様について検討が必要	・北・東側に影響が想定され、舗装仕様について検討が必要	・既存と同様の影響が想定され、舗装仕様について検討が必要	・既存と同様の影響が想定され、舗装仕様について検討が必要
		周辺環境とのつながり	IV, V	・昇降口から神社の緑が見える ・普通教室の廊下から神社の緑が見える	・昇降口から神社の緑が見える ・普通教室の廊下から神社の緑が見える	・昇降口・階段から神社の緑が見える ・図書館、特別教室の廊下から神社の緑が見える	・昇降口・階段から神社の緑が見える ・図書館、特別教室の廊下から神社の緑が見える
4 地域 開放	地域利用諸室のまとまり	III, VI	・東側B1F・1F・3Fに分散	・東側1F・3Fに分散	・西側B1・1Fに集約、2Fの開放も可能(3・4F普通教室集約)	・西側1Fに集約、2Fの開放も可能(3・4F普通教室集約)	
	セキュリティ	III, V, VII	・開放エリアが複数の階にあり工夫が必要	・開放エリアが複数の階にあり工夫が必要	・開放エリアの設定がしやすい	・開放エリアの設定がしやすい	
	災害時の対応	VII	・体育館が地下レベル(-3m)、防災倉庫と階が異なり、開放諸室と遠いが、校庭と近い	・体育館が1Fレベルで校庭と近いが、開放諸室と遠い	・体育館・防災倉庫が地下レベル(-4m)、校庭が遠い	・体育館・防災倉庫が1Fレベル、校庭遠い ・災害時、開放諸室が明快な避難所エリアとなる	
	将来の柔軟性	II	・普通教室エリアと特別教室エリアが混在しセキュリティラインの変更が難しい	・普通教室エリアと特別教室エリアが混在しセキュリティラインの変更が難しい	・2Fの特別教室の用途転用が可能	・2Fの特別教室の用途転用が可能	
5 工事 計画	工事中の運動施設	V	・新設体育館・プールを利用できる	・新設体育館を利用できる、プール利用できない	・仮設体育館を利用、プール利用できない	・仮設体育館を利用、プール利用できない	
	校舎の運用	I, V	・仮設校舎、既存校舎、新体育館の併用	・仮設校舎、既存校舎、新体育館の併用	・すべて仮設校舎（体育館含む）	・すべて仮設校舎（体育館含む）	
	工事中の校庭	V	・校地内に無し	・校地内に無し	・校地内に無し	・校地内に無し	
6 仮設 校舎 環境	教室環境	I, V	・普通教室は2・3F東西にまとまった配置で工事エリア遠い ・特別教室及び新校舎、既存校舎の一部に分散。別棟へは1Fからしかアクセスできない。既存校舎の改修が必要。	・普通教室は2F南側にまとまった配置で工事エリア遠い ・特別教室及び新校舎、既存校舎の一部に分散。別棟へは1Fからしかアクセスできない。既存校舎の改修が必要。	・普通教室は2・3F南側にまとまった配置で工事エリアが遠い ・特別教室は2・3F西側にまとまった配置で工事エリア近い	・普通教室は2・3F東側にまとまった配置で工事エリアが遠い ・特別教室は2・3F西側にまとまった配置で工事エリア近い	
	体育館(アリーナのみ)	I, V	・新設体育館 24m×30m (既存体育館 15.8m×27.0m)	・新設体育館 24m×30m (既存体育館 15.8m×27.0m)	・仮設体育館 13.8m×23.7m (既存体育館 15.8m×27.0m)	・仮設体育館 13.8m×23.7m (既存体育館 15.8m×27.0m)	
	給食	V	・既存校舎を利用 ・給食運搬時に外部を経由するため衛生面の配慮が必要	・既存校舎を利用 ・給食運搬時に外部を経由するため衛生面の配慮が必要	・仮設校舎に新設	・仮設校舎に新設	
	校内動線	V	・3つの棟に教室が分かれ移動しにくい	・3つの棟に教室が分かれ移動しにくい	・まとまった校舎と近傍に体育館	・まとまった校舎と近傍に体育館	
	工事エリア	V	・建替期間に複数回工事エリア・工事車両動線が変更となる	・建替期間に複数回工事エリア・工事車両動線が変更となる	・東西で明確に分離	・東西で明確に分離	
工事期間(想定)※			・77か月	・73か月	・59か月	・55か月	
仮設校舎利用期間			・3年5か月	・3年5か月	・3年4か月	・3年	
解体・仮設・改築に係るコスト(想定)※			・約54億円 △地下あり △プールあり △既存校舎改修あり △仮設校舎あり(3F建て、約2,886㎡) △工期比較的最長い	・約52億円 ○地下なし ○プールなし △既存校舎改修あり △仮設校舎あり(3F建て、約2,886㎡) △工期比較的最長い	・約54億円 △地下あり △プールあり ○既存校舎改修なし △仮設校舎あり(3F建て、約5,089㎡) ○工期比較的最短い	・約53億円 ○地下なし ○プールなし ○既存校舎改修なし △仮設校舎あり(3F建て、約5,089㎡) ○工期比較的最短い	

※工事期間、コストについてはあくまでも現段階の想定であり、実際には前後する可能性があります。